

令和2年度 事業報告について

コロナ対策（補正予算による緊急事業）

1 安心安全対策

(1) 感染防止対策設備の整備支援

県内宿泊施設において、「業種毎の感染拡大予防ガイドライン」を踏まえて、新型コロナウイルスの感染症拡大防止対策として取り組む設備の整備に要する経費を支援した。

区 分	補助率	補助上限額
1つのホテル等を経営する事業者	定額	30万円
複数のホテル等を経営する事業者 (2つのホテル等まで対象)		60万円

- ・補助件数：695件、768施設
- ・補助金額：199,631千円

(2) タクシー事業者向け観光受入環境の整備支援

タクシーにおける新型コロナウイルスの感染症拡大防止対策として、またインバウンド対応を見据えて、マルチキャッシュレス機器等の導入を支援した。

対象事業者	補助率	補助上限額
<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー事業協同組合等 ・タクシー事業者2社以上で構成する任意のグループ ・タクシーを活用した観光を推進する観光協会等の団体 	定額	1事業者当たり 10,000千円又は導 入車両数×20万円

- ・補助台数：984台
- ・補助金額：146,638千円

(3) 「ひょうご安心旅」の発信

宿泊施設、バス事業者、旅客船事業者が取り組む感染リスク軽減対策を旅行者向けに見える化し、「ひょうご安心旅」として全国に発信した。

- ・参加施設等：宿泊施設421施設、バス32社523台、旅客船24社60隻

(4) 県内旅行エージェント向けファミトリップの開催

JATA、ANTA加盟の県内旅行エージェントを対象としたファミトリップを開催し、観光施設や宿泊施設等の感染予防対策をエージェント自ら確認してもらい、国のGo To キャンペーンの実施を見据えた旅行商品造成を促進した。

- ・Aコース：6月25日～6月26日(県南部・個人向け商品造成)、参加者17名
- ・Bコース：6月29日～7月1日(県北部・個人向け商品造成)、参加者18名
- ・Cコース：7月9日～7月10日(県南部・団体向け商品造成)、参加者20名

2 需要喚起対策

(1) Welcome to Hyogo キャンペーンの実施

市町、観光協会、事業者等と連携し、兵庫県の魅力・特典などを最大限にPRした。

① OTAと連携した特設サイトの開設

国のGoToキャンペーンの実施に合わせてOTA3社（楽天トラベル・じゃらん・るるぶトラベル）のサイト内に兵庫県独自の特設サイトを設置し、おみやげ購入券のPRや特産品プレゼントの実施等により、旅行商品販売に取り組んだ。

- ・販売期間：令和2年8月～令和3年1月
- ・販売実績：11.3万人泊

【参考】宿泊に伴うおみやげ購入券発行事業（県実施事業）

県内の温泉地において、宿泊者にエリア内のお土産店等で利用可能なおみやげ購入券を進呈する「兵庫五国の名湯に泊まろうキャンペーン」を実施している。

- ・実施内容：10,000円以上の宿泊で2,000円の購入券、
5,000円以上10,000円未満の宿泊で1,000円の購入券を進呈
- ・対象者：県内温泉地の宿泊者
- ・実績：

	実施時期	発行枚数(1,000円券)
第1弾	R2. 7. 23～9. 22	450,000枚
第2弾	R2. 10. 31～R3. 4. 30	600,000枚

② メディアミックスプロモーションの展開

『Re-DISCOVER HYOGO（ひょうご再発見）』をコンセプトに発刊したガイドブックと連動させ、テレビ、FMラジオ、SNSなどの多様なメディアを活用し情報発信を行った。

ア テレビ、ラジオを活用したプロモーション

近隣府県からの誘客を促進するため、近畿広域圏を放送対象地域とする毎日放送（MBS）及び京阪神地区で聴取率トップのFM802を活用した情報発信を実施した。

イ インスタグラムを活用したプロモーション

インスタグラムを活用したフォトコンテストを実施した。

区分	テーマ	募集時期	応募件数	備考
第1回	『グッとくるひょうご』（思い出に残る兵庫の風景）	8～9月	6,869件	審査会は、審査員に絶景プロデューサーを迎え、インスタを通じてライブ配信
第2回	SDGsを踏まえた『100年後にも残したい兵庫』	12～1月	3,670件	FMラジオや神姫バスとタイアップして実施

ウ 企業との連携によるプロモーション

(ア) ヴィッセル神戸との連携

地域に根付き、社会貢献活動を積極的に展開しているヴィッセル神戸と連携し、選手から試合後やSNS等を通じて情報発信を実施した。

(イ) 神姫観光バスガイドによる口コミ情報発信『私のRe-DISCOVER HYOGO』

緊急事態宣言下で観光バスツアーが激減する中、兵庫の観光再生に貢献したいという神姫観光と連携し、観光バスガイドが有する「知る人ぞ知る観光地」などの口コミ情報をSNSなどで広く発信した。

- ・バスガイド向けオンライン研修会の開催（令和3年2月22日）

(2) バス旅行の支援

① ひょうごツーリズムバス（県外発のバス旅行の支援）

県外から県内への団体旅行の早期回復を図るため、バス借上げ費用の一部を補助するひょうごツーリズムバスの補助単価を2倍にするとともに、参加者の特産品購入を支援した。

参加人数（1台）	補助額（1台）		特産品進呈（1人）
	宿泊	日帰り	
20人以上	60,000円	30,000円	1,000円相当
10人以上19人以下	30,000円	15,000円	

- ・補助台数：1,124台（うち修学旅行449台）
- ・補助金額：44,625千円
- ・特産品進呈：4,733千円

② ひょうご五国のバス旅支援（県内発のバス旅行の支援）

県内旅行業者による団体旅行の造成を促進するため、県内旅行業者が企画したバス旅行に対する補助制度を新設し、道の駅等で旅行者に特産品を進呈した。

補助額（1台）		特産品進呈（1人）
宿泊	日帰り	
100,000円	50,000円	2,000円相当

- ・補助台数：831台（うち修学旅行42台）
- ・補助金額：49,200千円
- ・特産品進呈：26,994千円

(3) コンベンションの開催誘致支援

県内への宿泊や滞在を伴うコンベンションの開催誘致を促進するため、県内のホテル・旅館の会議場等における学術会議や大会等の開催を支援した。

延べ参加者数	補助率	補助上限額
100人以上 500人未満	補助対象経費 の20%	50万円
500人以上1,000人未満		100万円
1,000人以上		200万円

- ・補助件数：15件
- ・補助金額：11,608千円

(4) 観光拠点整備支援

観光客の利便性、観光地の魅力の向上など、地域観光の賑わいづくりに資する事業（ホテル、ゲストハウス、工房、レストラン等の整備）を対象に施設の改修費を支援した。

補助対象者	補助率	補助上限
施設等のオーナーや企業、団体及び個人等	3/4(県1/2、市町1/4)	外装・内装・設備改修：24,750千円 耐震改修：5,625千円

・補助件数：4件

・補助金額：59,230千円（県：39,486千円、市町：19,744千円）

(5) スキー場周辺地域の誘客促進

① スポーツ・文化合宿誘致支援

昨年の暖冬や新型コロナウイルスの影響を受けたスキー場周辺地域を支援するため、スキー場がオフシーズンとなる期間中にスポーツ・文化合宿を実施する団体に対し、1人1泊2,000円の宿泊割引を実施した。

・補助期間：6～11月

・補助実績：105団体、5,429人泊、補助金額10,858千円

② スキー場宿泊割引支援

スポーツ・文化合宿の宿泊割引支援が11月末で終了したことにより、継続的な支援としてスキーシーズンの始まる12月よりスキー場周辺地域の対象施設に宿泊する人に対し、1人1泊2,000円の宿泊割引を実施した。

・補助期間：12～4月

・補助実績：8,060人泊、補助金額16,120千円

③ スキー場・誘客促進支援[イベント補助]

各スキー場が地域の観光協会とともに実施するイベントやリフト割引券の発行など、誘客回復に向けた事業を支援した。

対象事業者	補助率	補助上限額
スキー場が存する地域の観光協会	2/3	1スキー場あたり 6,000千円

・補助団体：7団体

・補助金額：80,594千円

④ スキー場・魅力ある観光資源づくり支援[コンテンツ補助]

地元観光協会が実施するコンテンツ開発やツアー造成、プロモーションへの支援を実施した。

対象事業者	補助率	補助上限額
スキー場が存する地域の観光協会	1/2	1市町2,000千円

・補助団体：1団体

・補助金額：1,717千円

ひょうごツーリズム戦略に基づく重点事業（当初予算による通年事業）

I 観光地の魅力向上

凡例：[新]…新規事業
[拡]…拡充事業

1 観光地魅力コンテンツの創出・発信

(1) 兵庫を彩る魅力あるコンテンツの開発

① [新] 周遊・体験型コンテンツの創出・発信（観光庁補助事業）

観光ニーズが『モノ』観光から、体験を重視した『コト』観光にシフトしていく中、県内各地の地域資源をインバウンド向け観光コンテンツに育てることを目的として、体験型・周遊滞在型コンテンツ49件（うちプレミアムコンテンツ8件）の造成に取り組んだ。

- ・インバウンド受入講習会：4回（神戸、播磨、但馬、淡路）
 - ・モニターツアーの実施：4回
 - ・パンフレットの作成：日、英、仏、中（簡体・繁体）、タイ
- 《造成コンテンツ例》

- ・世界最古の舞台芸能「能」体験
- ・日本酒のシンボル“杉玉”づくり
- ・コウノトリ絶滅と復活の郷を巡る
- ・丹波の地で、日本の「心」にふれ、「道」を学び、「味」を楽しむ
- ・「淡路人形浄瑠璃」鑑賞と人形・太夫・三味線体験

② [拡] ひょうごロケ支援Netの推進

映画・テレビ等のロケ地をツーリズム資源として観光PRするため、県内のフィルムコミッションや市町等と連携してロケ誘致に取り組んだ。また、制作会社がより効率的にロケ地を検索できるようホームページをリニューアルするとともに、県民エキストラ登録システムを開設した。

- ・実績：情報提供 88件、撮影：44件

(2) 滞在型観光プログラムの開発

① ナイト・モーニングタイムコンテンツの充実

各地の観光事業者と協働し、六甲山の夜景とライトアップを望むコンテンツや、温泉街まち歩きなどのナイト・モーニングタイムのコンテンツを開発した。

(3) 交流とにぎわいの空間づくり

① 淡路花博20周年記念花みどりフェアへの参画

淡路花博20周年記念事業実行委員会に参画し、淡路島内の食や自然、歴史・文化の魅力を活かした各種イベントと連携した旅行商品の造成促進、インバウンド誘客プロモーションに取り組んだがコロナの影響により令和3年度に延期された。

- ・開催時期：春 2021. 3. 20～5. 30、秋 2021. 9. 18～10. 31

② 「ワールドマスターズゲームズ2021関西」に向けた開催準備

ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会等と連携し、訪日客向けの着地型観光コンテンツの提供、情報発信を行う予定であったがコロナにより令和3年度に延期された。

- ・開催時期：2022. 5. 13～5. 29

Ⅱ 受入環境の整備促進

1 観光客受入基盤の整備

(1) 観光地を支える快適な環境整備

① 受入環境整備

体験型・周遊滞在型コンテンツの開発に取り組む事業者等が行う多言語案内、Wi-Fi環境、通訳ICTサービスの充実、キャッシュレス対応等受入環境整備に対して支援を行った。

- ・助成対象：19団体
- ・助成実績：7,104千円

② [新] ハラル・ベジタリアン等への対応・情報発信

多言語観光WEBサイト「ANOTHER HYOGO」において、ハラルやベジタリアン対応等を行なっているレストランの検索サイトおよび県内市町のムスリムフレンドリーサイト、マップを掲載し、情報発信を行った。

(2) 観光地・観光産業を支える人材の確保・育成

① [拡] ひょうご広域周遊ガイドの育成（観光庁補助事業）

全国通訳案内士等を対象に、ガイドの役割や地域の魅力を再発見し、新しい旅のスタイル「人がつなぐ旅をつくるヒトタビ兵庫」を目指して、地域のストーリーや魅力を伝える旅のプランづくりに取り組む研修を実施した。

- ・受講者数：100名
- ・研修内容

内容	時期	場所
講座（2回）	10/30、31	（オンライン）
現地フィールドワーク （3回）	①11/7-8 ②11/14-15 ③11/21-22	①丹波篠山市 ②宝塚市 ③たつの市
ワークショップ（3回）	1/16、1/23、1/30	（オンライン）
成果発表会	2/20	（オンライン）

② 観光地におけるホスピタリティの向上

地域でおもてなしを担う人材に対して、接遇研修を実施するとともに、市町観光協会等との連携により、観光ボランティアガイドの相互交流を図るため、研修会を開催した。

ア 接遇研修

対象	団体数	回数	受講者数
交通事業者	0	0	0
観光関連施設等	3	3	71
観光ボランティアガイド	0	0	0
市町、観光協会等	3	4	22
合計	6	7	93

イ 観光ボランティアガイド研修会

- ・時期：令和3年3月23日
- ・場所：兵庫県民会館
- ・参加者：25団体、25人

③ [拡] 観光産業の人材確保・育成

次世代の観光産業を担うグローバル人材を育成するため、全国の高校生を対象とした観光動画制作コンテスト『観光甲子園』に協賛した。また、観光学科・コース等のある大学と連携したインターンシップに実施した。

《観光甲子園エントリー状況》

- ・訪日観光部門：537校（うち兵庫県30校）
- ・ハワイ部門：90校（うち兵庫県1校）
- ・日本遺産部門：99校（うち兵庫県8校）

(3) 安全安心を届ける受入基盤整備

① [拡] ユニバーサルツーリズムの推進

障がい者や高齢者など誰もが観光を楽しめるよう、宿泊・観光・移送・福祉サービスのネットワーク化、受入体制の構築、バリアフリー情報の発信等を行った。

ア 旅行社等を対象としたファミトリップの実施

- ・日 程：令和3年3月9日
- ・場 所：阪神地域（宝塚市）
- ・コース：宝塚ホテル、手塚治虫記念館、ホテル若水 など

イ ユニバーサルツーリズムマップの作成

篠山城下町を対象にバリアフリー施設情報等を記載したまち歩きマップを作成した。

ウ 地域ネットワークの構築を支援するフォローアップ研修の実施

(ア) 水陸両用の車いすを活用した自然体験及びPR動画制作

- ・日 程：令和2年9月28日
- ・開催地：但馬地域（豊岡市）
- ・対 象：一般県民、観光、宿泊、福祉関係者 等

(イ) 理解促進講座の開催

- ・日 程：令和2年11月21日
- ・開催地：播磨地域（姫路市）
- ・対 象：県内学生、観光、宿泊、福祉関係者 等

(ウ) ユニバーサルツーリズム支援団体によるネットワーク会議の開催

- ・日 程：令和3年3月24日
- ・開催地：オンライン開催
- ・対 象：ユニバーサルツーリズム支援団体等

エ [新] 世界パラ陸上を見据えたユニバーサル情報の提供

世界パラ陸上競技選手権大会（2022.8.26～9.4に延期、神戸市）開催等を見据え、障がい者や高齢者がより簡単にバリアフリー情報等を得られるようホームページをリニューアルするとともに、多言語に対応するアプリに県下のバリアフリー情報を掲載した。

2 観光地アクセスの整備

観光地・交通事業者と連携した2次交通対策を推進するとともに、観光地へのアクセス拠点を整備した。

(1) 観光地・交通事業者と連携した2次交通対策の推進

① [新] タクシーによる観光地らくらくアクセス事業

但馬地域において、観光関連団体等と連携し、駅・観光スポット・宿泊施設等を巡る定額タクシーサービスを開発し、訪日外国人旅行者向けに多言語パンフレットを作成した。

- ・連携事業者：北近畿広域観光連盟、(株)全但タクシー
- ・ホームページの多言語化（英語、中国語(繁体字)）
- ・多言語パンフレットの作成（英語、中国語(繁体字)）
- ・自動翻訳機の導入 等

(2) 観光地アクセス拠点の整備

① [拡] 観光案内所の整備・機能の拡充

ワールドマスターズゲームズ2021関西や大阪・関西万博を見据え、JNTOの外国人観光案内所の認定を取得したことを契機に、より良質な旅マエ・旅ナカ情報を提供するため、伊丹空港内の情報発信拠点「INFORMATIONひょうご・関西」の機能拡充を行い、大型モニターやVRゴーグル等を新たに整備した。

- ・リニューアルオープン：令和2年11月21日
- ・年間利用人数：23,126人

※コロナ感染症拡大防止のための臨時休業：令和2年4月16日～5月27日
令和3年1月14日～2月28日

② [新] Google等での掲載情報の充実

近年、検索方法としてGoogle Mapの情報が重要度を増す中、旅マエ・旅ナカにおける効果的な情報発信により観光地の周遊を促すため、県内の事業者によるME O (Map Engine Optimization) 対策として、Googleマイビジネスへの登録サポートを無料で代行した。

- ・登録実績：200事業者

III 観光産業の振興

1 観光ビジネスの創出・育成

(1) 観光ビジネスのイノベーションの創出

① [新] 観光ビジネスのオープンイノベーションの推進

県内に102店舗を有する(株)みなと銀行と協働して展開する、新たな観光ビジネスを生み出すプラットフォーム「Sail 4」（自治体観光セクション・DMO、民間観光関連企業・団体、クリエイター、大学・教育機関の4分野の関係者）の枠組みを活用し、新たな観光ビジネスの創出に向けたオンライン観光ビジネスセミナーを開催した。

- ・日 時：令和3年2月10日
- ・テーマ：ポストコロナの持続可能な観光ビジネスを共創する
- ・参加者：286名

(2) 事業者とともに取り組むニューツーリズムの創出（観光庁補助事業）

① [新] スノースポーツツーリズムの推進

スキー場を核とした滞在型の広域周遊観光の実現に向け、主にアジアからの訪日客を対象としたスキーシーズン及びグリーンシーズンの体験型コンテンツの造成に取り組んだ。また、スキー場運営事業者や交通事業者、地域の観光協会が参加するワークショップや検討会を開催した。

- ・ワークショップ・検討会の開催：8回
- ・体験型コンテンツ：10件
- ・パンフレットの作成

② [新] ゴルフツーリズムの推進

ワールドマスターズゲームズ2021関西（WMG）に向けて、ゴルフと歴史・文化などの観光資源・体験を組み合わせた旅行商品を造成した。

- ・県内ゴルフ場を対象としたアンケート調査
時 期：令和2年9月～10月
回答数：82カ所（回答率52%）
- ・モニターツアーの実施（3回）
神戸播磨（12/2-4）、但馬（10/24-25）、淡路（11/11-13）
- ・ファミトリップの実施（2回）
北播磨〔西脇・多可〕（11/30-12/1）、北摂三田（12/6-8）
- ・商品造成：12件
- ・パンフレット（英語・日本語）、タリフ（英語）の作成

③ [新] サイクルツーリズムの推進

ウィズ・コロナ期において、県内地域が有する風景を楽しみながら、観光地を巡る手段としてサイクルツーリズムを推進するため、県内各地に観光型サイクリングコースを設定した。また、DMOや観光協会、市町、事業者を対象に、サイクルツーリズムの意義や事業展開に必要なガイドやE-Bikeの整備などについての講習会を開催した。

- ・サイクリングコースの設定：6コース
- ・講習会の開催：4回（うち、3回オンライン開催）
- ・モニターツアー：4回（阪神、播磨、但馬、丹波）
- ・サイクリングマップの作成

(3) 食・特産品・農畜水産物の消費拡大

① 首都圏観光PR

東京有楽町にあるアンテナショップ「兵庫わくわく館」において、デジタルサイネージ・ポスター・パンフレット等での観光PRを実施するとともに、催事スペースの活用により、旬の特産品を中心に効果的な情報発信に努めた。

- ・実施期間：令和3年1月～令和3年3月
- ・実施内容
 - a 特産品の売上げ拡充に向けレストラン・バイヤーへの営業
 - b SNSを活用した新たなファン層の掘り起こし
 - c 購買意欲促進に向けたオンラインセミナーと通信販売
（兵庫県出身の利き酒師あおい有紀氏による日本酒セミナー）

② 観光土産品の審査・推奨の実施

観光土産品公正競争規約に基づく審査を実施し、基準を満たす観光土産品を推奨することにより、質の高い観光土産品をPRした。

- ・審査方法：(株)ラベルバンクへ委託
- ・推奨商品：76点（菓子32点、食品・飲料43点、民芸品1点）

IV プロモーションの強化

1 戦略・継続的なプロモーション

(1) 日本人旅行者向けプロモーション

① 認知度向上とブランド化の推進

ア 「あいたい兵庫」有カコンテンツの活用したプロモーション

(ア) 2020秋冬ガイドブック

コロナ禍において、『Re-DISCOVER HYOGO (ひょうご再発見)』をコンセプトに、あまりまだ知られていない兵庫の絶景やグルメのお立ち寄りスポット、地域の逸品お取り寄せなど、マイクロツーリズムの楽しさを詰め込んだ公式観光ガイドブック等を作成した。

- ・公式観光ガイドブック『海へ、山へ、高原へ。兵庫の絶景』（13万部）、WEB、ポスターの作成
- ・京阪神エルマガジン社とのコラボ企画としてMOOK本『兵庫まんぷくドライブ』の発刊（3万部）

(イ) 2021春夏ガイドブック

- ・公式観光ガイドブック「おとなの遠足」（13万部）、WEB、ポスターの作成（JR西日本主要駅、道の駅、観光協会等で配布）

(ウ) 交通事業者と連携した観光プロモーション

- a JR西日本：旅フェア岡山旅ミルン（6月中止）、
「新幹線で関西へ行こう！観光キャンペーン」（1月中止）
- b JR東海：東海道新幹線を利用したPR、旅行商品の造成を行うため、姫路城での「日の出」、六甲山での「夜景」観賞ができる特別感のある商品を、JR東海を通じ旅行社へ提案し、首都圏及び中京圏からの観光誘客に努めた。

イ NHKラジオ番組での観光PR

NHKラジオ第1「マイあさ！関西」（関西ローカル）の中の「おでかけ情報」のコーナーで、県内の観光情報をPRした。

- ・実施回数：5回

② 旅行商品・ツアー造成の促進

ア 国内向け戦略的観光プロモーション

(ア) 旅行博への出展、近畿6府県首都圏観光情報交換会等への参画

- a ツーリズムEXPO2020東京商談会（令和3年1月7日～8日）
コロナ禍により現地開催が中止され、オンライン商談会で旅行エージェントやメディアとの商談・情報交換を実施した。

- ・商談実績：14社（旅行社8社、メディア6社）

b 近畿6府県首都圏観光情報交換会（6月・10月・3月）

近畿府県と連携し、首都圏の旅行会社及びマスコミ関係者へ観光情報を発信した。

- c 東京兵庫県人会（令和2年11月16日）
東京兵庫県人会において首都圏の県民に対し観光情報を発信した。

(イ) 地域プレゼンテーションの実施

神戸空港就航先のメディア、旅行社等を招聘し、県内観光地を視察するとともに、航空会社を交えた意見交換会を実施した。

- ・実施時期：12月9日～11日
- ・招聘団体：メディア5社、旅行エージェント5社、観光連盟等2団体

③ リピーターにつなげる旅アフフォロー

ア [拡] 観光WEBサイト充実強化

観光客ニーズに合った情報発信や、インターフェイスの改良、経路検索機能の追加などひょうご観光本部公式ホームページの利便性を高めることにより、アクセス数が対前年比170%となった

アクセス数：R1年度 955,979セッション、R2年度 1,621,831セッション

(ア) 口コミ情報記事の充実

実績：51件

(神戸10件、阪神3件、播磨11件、但馬11件、丹波4件、淡路8件、広域4件)

(イ) 経路検索機能の追加

旅ナカにおける利便性の高い情報を発信するため、利用者が任意の観光スポットを選んだ際、その交通経路を自動的に作成することが出来る機能を追加した。

(ウ) 『Re-DISCOVER HYOGO』特集ページの開設

ガイドブックに掲載した『兵庫の絶景』とその周辺スポットの情報を発信するとともに、安心安全な旅を楽しんでもらうための取組や「コロナに負けない」というメッセージを込めた県内観光地からの動画、「Welcome to Hyogoキャンペーン」の詳細内容などをまとめた特集ページを開設した。

(エ) 『Re-DISCOVER HYOGO』PR動画の製作

緊急事態宣言が解除された6月に、『Re-DISCOVER HYOGO さあ、新しい“いつも”の旅へ』をコンセプトとして、観光事業者や交通事業者のおもてなしに対する取組や思いを表現したPR動画を製作し、多言語（英・仏・中・韓）により配信した。

イ [新] 県内主要観光地・宿泊地魅力度調査

(ア) 主要観光地・宿泊地魅力度調査

県内の主要8地域の観光施設及び宿泊施設においてQRコードを活用した現地調査を8月より開始した。

(イ) 国内旅行者向けWEBモニター調査

令和元年度（平成31年4月～令和2年3月）に観光目的で兵庫県を訪れた全国の20歳以上の男女を対象に調査を実施した。

(2) 訪日外国人旅行者向けプロモーション

① 認知度向上とブランド化の推進

ア [新] 海外TVプロモーション

英国から日本への誘客を促すため、英国番組放送局において放映される日本の特集番組の兵庫県内ロケを支援した。

- ・実施時期：令和3年3月4日～7日

- ・実施場所：新温泉町（但馬牛博物館、湯村温泉）、香美町（上田畜産）、豊岡市（城崎温泉、いろりダイニング三國）、養父市（やぶパートナーズ（朝倉山椒））、丹波篠山市（丹窓窯）

イ [拡] 中国向けオンラインプロモーション

(ア) WeChat、Weibo

公式アカウントの管理運営と、記事の制作・投稿、フォロワー獲得・定着プロモーション（Wechat 1回(12-1月)、Weibo 2回(9月、2月))を実施した。

- ・実績 フォロワー（3月末現在）
Wechat 21,300人（対前年度末(9,258人) 230%）
Weibo 23,145人（対前年度末(6,990人) 331%）

(イ) 百度百科

中国最大の検索エンジン百度（Baidu）が運営する、世界最大の中国語オンライン辞書「百度百科（Baidu Baike）」へ、兵庫県内のおすすめ観光スポットを紹介するプロモーション動画を掲載した。

- ・実績 動画再生回数 約11.8万回

ウ [新] ひょうごの魅力を紹介するPR動画の制作

インバウンドをはじめ、県内外から観光誘客を促進するため、ひょうごの魅力をPRする動画を作成した。今後、YouTubeをはじめとしたSNSやHYOGO!ナビ等のWEB媒体で発信していく。

エ ひょうご国際観光デスクの運営

アジア・リピーター市場において、本県ゆかりの旅行エージェント等のネットワーク・ノウハウを活用した観光デスクを運営し、新型コロナウイルス感染症関連の情報収集や観光情報の発信等を実施した。

(ア) 設置場所 韓国（釜山）、台湾（台北）、香港、タイ（バンコク）

(イ) 事業内容

- ・新型コロナウイルス感染症に関連する現地状況の情報収集
- ・現地メディアへのPR、SNS等による情報発信
- ・現地旅行博覧会等への出展プロモーション等

オ ツーリスト・インフォメーション・デスクの運営

ひょうご観光本部に外国語スタッフ4名（英語、フランス語、中国語、韓国語）を配置し、外国語による相談対応、海外メディア等による県内招聘取材のアテンド等を実施した。

② 旅行商品・ツアー造成の促進

ア 重点市場の開拓（兵庫県外客誘致促進委員会事業）

新型コロナウイルス感染症の終息後、兵庫を旅行先として選択してもらうため、重点市場に向けて、商談会への出展、メディア・旅行エージェントの招聘を実施した。

(ア) 商談会への出展

商談会	時期	場 所
台湾大商談会	1月28～ 2月4日	(オンライン)

(イ) メディア・旅行エージェントの招聘

ファミトリップ	対象国	時期	対象者
広域周遊ルートを活用したプロモーション[岡山県連携]	タイ	10月17～20日	インフルエンサー
米国向け体験型観光プロモーション[徳島県連携]	米国	11月18～21日	インフルエンサー、メディア
		11月29～12月2日	旅行エージェント
WMG2021関西を契機とした豪州向けプロモーション[徳島県・鳥取県連携]	豪州	11月26～30日	インフルエンサー、メディア
英国旅行雑誌ファミトリップ(ナショナル・ジオグラフィック・トラベラー)	英国 欧州	9月28～10月4日	取材スタッフ

イ 県内事業者インバウンド展開支援

外国人旅行者獲得機運を高めて誘客を促進するため、旅行社等に対し、巡回訪問によるインバウンド関連情報の提供、個別相談対応等を実施した。

③ 魅力ある旅ナカ情報の提供

ア [新] 首都圏プロモーション(東京オリンピック・パラリンピック関連)

東京オリンピック・パラリンピックの開催期間にあわせた兵庫の観光情報や物産のPRを計画していたが、中止となった。

(ア) 東京スポーツスクエア(東京有楽町)での魅力発信イベントへの出展

日程：令和2年7月22日～24日 (※中止)

(イ) 兵庫県ホテル生活衛生同業組合青年部の「宿フェス」への出展協力

日程：令和2年8月29日～30日、上野恩賜公園 (※中止)

④ リピーターにつなげる旅アトフォロー

ア [新] J E Tプログラム参加者と連携した口コミ情報発信

県内在住のJ E Tプログラム参加者等在留外国人を対象に、本県の観光を体験してもらうモニターツアーを実施し、各自のSNSアカウント等を通じた情報発信を実施した。

・時 期：令和3年3月20日

・場 所：丹波篠山地域

・参加者：3人

イ “体験・兵庫” 発信事業

オンライン情報誌「GOOD LUCK TRIP～Hyogo Golden Route～」を活用し、重点市場である台湾・香港の嗜好に合うコンテンツを把握するマーケティング調査、調査結果を踏まえた情報発信を実施することで、F I T (個人旅行者) の県内周遊の促進に取り組んだ。

ウ [新] 県内主要観光地・宿泊地魅力度調査(台湾人向けインバウンド調査)

過去3年以内(2018年1月～2020年12月)に観光目的で兵庫県を訪れた台湾在住の20歳以上の台湾人を対象に調査を実施した。

2 広域ゲートウェイへのアプローチ

兵庫への多様な広域ゲートウェイに着目し、広域連携による周遊ルートの形成や国内他地域の相互誘客を推進した。

(1) 広域連携による周遊ルートの形成

① DMOとの連携の推進

広域DMO等と連携し、関西圏、瀬戸内圏、日本海圏、四国・淡路圏の広域周遊ルートの形成を推進した。

- ・神戸淡路鳴門地域等周遊観光ワークショップへの参画
- ・関西観光本部「THE EXCITING KANSAI」キャンペーンへの参画

② 山陰海岸ジオパークエリア誘客促進

京都府・鳥取県と連携し、山陰海岸ジオパークを中心とした日本海側地域の魅力を発信するため、J N T Oの情報コンサルティング事業を活用した情報発信に取り組んだ。

③ 近隣府県と連携したプロモーションの実施（兵庫県外客誘致促進委員会事業）

ア 広域観光周遊ルートを活用したプロモーション【再掲】

岡山県と連携し、J Rを活用した瀬戸内の旅行商品造成のため、日本在住のタイのインフルエンサーを招聘し、動画を制作するとともに、オンラインツアーを実施する等、情報発信を行った。

[訪問先] 神戸市、明石市、姫路市

イ 米国向け体験型観光プロモーション【再掲】

徳島県と連携し、米国からの旅行者向け観光コンテンツの開発のため、日本在住のメディア・インフルエンサー、ランドオペレーターを招聘し、情報発信を行った。

[訪問先] 神戸市、洲本市、姫路市

ウ [新]WMG2021関西を契機とした豪州向けプロモーション【再掲】

徳島県、鳥取県と連携し、ワールドマスターズゲームズ2021関西(WMG)参加者の誘客、長期滞在を促進するため、WMGへの参加者が多い豪州を対象に、日本在住のメディア・インフルエンサーを招聘し、情報発信を行った。

[訪問先] 姫路市、豊岡市、朝来市、南あわじ市

(2) 国内他地域との相互誘客の推進

① [新] 国内線航空会社と連携した観光プロモーション

国内就航路線の航空会社及び就航先DMO・観光協会等と連携し、就航先と相互に観光地の魅力を見出し、「Local to Local」のネットワーク構築により情報発信や旅行商品化など国内観光市場の活性化を図った。

ア 青森県との連携

青森県観光連盟、十和田奥入瀬観光機構と連携しF D A機内誌(冬号)及び(春号)に広告掲載。専用WEBサイトからの相互PRとアンバサダーの募集、情報発信を実施した。

イ 鹿児島県との連携

鹿児島県観光課、鹿児島県観光連盟、鹿屋市、おおすみ観光未来会議と連

携し「平和ツーリズム」を掲げる加西市と鹿屋市の連携を促進した。教育旅行での相互送客に向けて事業を展開していく。

ウ 茨城県との連携

茨城県観光物産課、空港対策課、茨城県観光物産協会と連携し、ゴルフツーリズムを中心に旅行商品化を検討する。

② 広域観光振興事業への参画

ア 日本観光振興協会関西支部への参画

関西府県の連携による観光プロモーションを実施した。イベント中止により現地でのPRができない中、パンフレットの設置等、可能な限りでの県内観光資源PRに努めた。

イ 北近畿広域観光連盟への参画

但馬・丹波地域と京都府北西部の関係機関、交通事業者と連携した観光プロモーションを実施した。

③ 隣接県連携バス助成

兵庫県と隣接県（岡山県・鳥取県・徳島県）を周遊するバス借上げ費用の一部補助により、県域を越えた誘客を図った。コロナ禍により県をまたぐ旅行が控えられたため、実績は僅かにとどまった。

・助成台数：5台（岡山1台、鳥取0台、徳島4台）

V 組織活動事業

1 理事会・総会の開催

	時 期	場 所
第1回理事会	令和2年6月1日	120 WORKPLACE KOBE
第1回総会	令和2年6月22日	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
臨時理事会	令和2年6月22日	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
書面による理事会	令和2年7月31日	（書面）
第2回理事会	令和3年3月30日	ホテルクラウンパレス神戸

2 ひょうごツーリズム戦略推進会議

	時 期	場 所
第1回	令和2年9月1日	（オンライン）
第2回	令和2年11月9日	兵庫県中央労働センター
	令和3年2月	令和3年度事業 ポスト・コロナを見据えた充実方策とりまとめ

3 市町観光協会、広域観光団体、観光関連の機関・団体等との連絡調整

4 会員等が実施する観光行事への後援、協賛、広報PR協力等

